

第434号

発行  
浄土真宗  
心光寺  
奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086)420-1311



# 荒野を歩く

ある



カット：本多紘子

早春の候、皆様方がお過ごしでしょうか。春寒しだいにゆるむ季節になって参りましたが、まだまだ風が冷たく感じられます。桃の節句で雛飾りをしている家庭が少なくチョッピリ寂しいですね。

愚僧は昭和23年生まれの満77歳で、後期高齢者の仲間入りをしています。お寺の小さな畑で白菜や大根を作っています。自分ではまだまだ若いと思っていました。大根を植える土地を50センチ以上に深く耕していなかったため、3年ばかり前から大根が萎縮して、根が二股や三股に分かれて、お粗末な大根しか育たず、檀家のお百姓さんに指導を仰ぎました。白菜や大根の種蒔きの時期や、肥料のやり方も教えて貰い、今年の冬は見事な白菜や大根を作りたいと願っています。

今季の冬は意外と寒く、寒波の襲来で東北地方・北陸地方・北海道などでは大雪が降り、除雪作業に四苦八苦されている状況がテレビで映され、降雪の少ない岡山県南に住む愚僧は驚きました。家の屋根に大雪が積もると、雪の重みで家が潰れるので、雪が止んでいる間に屋根の雪下ろしをします。高齢者ばかりの家では雪下ろし中に屋根から転落する事故も起こり、死傷者も出ています。自衛隊に雪下ろしや道路の除雪を要請した県もあり、雪は見た目より恐くて厄介ですね。

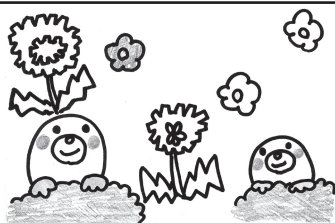
\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

雪や氷と云えば、第25回冬期五輪がイタリアのミラノ・コルティナの両都市で日本時間の2月7日から22日までの17日間で開催されました。スキー・スケート・スノーボードなどの8競技116種目で選手たちが正々堂々と競い合い、冬期五輪で日本は史上最高の24個のメダルを獲得したのです。日本選手の活躍が目立ったのはスノーボードの男女選手であり、またフィギュアスケートの男女選手でありました。特にスノーボードの選手が練習環境の充実で活躍し、近年は夏場でも日本国内でいつでも練習できるようになったからです。雪山に似せた傾斜のエアマットを設置したジャンプ練習施設が各地に広がり、研究機関と連携し、理論やデータに基づいた練習法が確立されてきたことが、選手たちにも大きな自信となっているのです。

それにしても地球温暖化が進むと、百年後は冬期五輪を開催出来る都市は日本の札幌しかないと言われ、新聞に書かれていたので驚きました。生成AI（人工知能）の普及で、それを支えるデータセンターや半導体工場が増えて、電気の需要が大きく伸びています。石炭や石油を使う火力発電所が増えれば、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）も大量に排出され、地球温暖化がさらに進みます。二酸化炭素を排出しない豊富なエネルギーを確保するためには、原子力発電しかないと言われ、米国の電力大手コンソレーション・エナジーの最高経営者が主張して、世界的にも原発回帰の動きが顕著になっています。原発事故が起きたら、放射能漏れで、その周りの都市住民は多大な被害を受けるのに、1969年に歌手の相良直美さんが歌った「いいじゃないの今が良けりや」の歌詞のようで、人間は本当に何を指して生きているのだろうか。

故梯實圓先生の授業で、「人間にとって一番不幸なことは、自分が生涯をかけて本当に求めねばならないものが何であるか知らないことだ。真に求むべきことを知らないから、あれも、これもとあらゆるものを求めて道草を食う」と学びましたが、不満と悔恨のなかで大切な自分の人生を終わらせたくないものです。合掌 (奥原 曇龍)

『人はみな荒野のような道歩く 傷つきながらさまよいながら』 どんりゅう



カット：府川 綾

## ともしび説法

日時・三月 十一日（水）・午後一時半から四時まで。  
四月 十九日（日）・午後一時から四時頃まで。  
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



# お釈迦様ものがたり 113

80歳を超え、衰えの目立っていたお釈迦様は、比丘達に最後の教誡をし、入滅(死)を迎えるために滅尽定という禅定に入られた。初禅から第2禅へ、第2禅から第3禅へ、第3禅から第4禅へ、それから空無辺処などの無色定へと進み、その最高の非想非非想処定からさらに聖者の無心定である滅尽定に入られました。

まだ阿羅漢(一切の煩惱を断ち切った立派な僧)に達していなかった従者のアーナンダは、お釈迦様が不動にして無念無想の禅定に入られたのを見て、これが入滅されたのではないかと思ひ、傍らにいた十大弟子の一人である天眼第一のアヌルダに質問します。

禅定の専門家であるアヌルダは、お釈迦様はまだ入滅されたのでは無く、滅尽定に入られたのであると答えます。やがてお釈迦様は滅尽定を出て、次第に下方の禅定へと進んで最下の初禅へ下り、さらに初禅から次第に第4禅へ進み、そこからいよいよ入滅されました。止観均等の第4禅が、禅定として最も理想的であるからです。

お釈迦様の入滅と共に、大地は振動し、天鼓(切利天にある打てなくても妙音を発する鼓)は鳴り、神々およびアヌルダ、アーナンダなどの比丘達は、お釈迦様の入滅を悼む詩偈を唱えたとせられます。周囲にいた比丘達は、ある者は大いに嘆き悲しみ、十分にさとして耐えていました。アヌルダは悲泣する比丘達に、お釈迦様の平素の教えとして、諸行無常である旨を改めて説き示したのです。

このようにして、アヌルダとアーナンダは法話をもってその夜を過ごしたが、明け方になると、アヌルダはアーナンダに命じ、クシナラのマツラー族の人々に、お釈迦様の入滅を伝えさせます。合掌 (奥原曇龍)

お彼岸の鐘の音響く花の庭 光やわらか心つつまる 田辺多恵子



2月23日 心光寺本堂にて河野家法要

## ともしび法話

春寒しだいにゆるむ季節の3月、卒業式のシーズンでもあります。皆様お風邪は大丈夫でしょうか。

3月はお彼岸の行事があり、お寺も準備をととのえています。3歳半の娘と7ヶ月の男児を育児しながら、前坊守奥原博士の後を継ぎ、懸命に頑張っています。

心光寺新坊守(ほうもり) 府川 綾

2月の『ともしび』有り難うございました。「出会いがあれば必ず別れがある」

この言葉にドキッとしました。夫や子どもとのいつか別れが来ると思うと寂しいですね。一日一日を大切に感謝です。合掌

倉敷市黒崎 早瀬小夜子

叔母の太鶴子が今年の1月8日に御浄土に還り、曇龍先生に家族葬でお世話になりました。独身の叔母でしたが、私の家族や親戚で温かに見送りでき感謝しています。

岡山市南区 河野 勇二

「春彼岸心に光る寺参り

御先祖様と南無阿弥陀仏」

倉敷市連島町 徳田 勉

## ともしび説法

日時・三月 十一日(水)・午後一時半から四時まで。四月 十九日(日)・午後一時から四時頃まで。

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて 電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

四月 十九日(日)・午後一時から四時頃まで・早高の本堂。

春の永代経法要 儀式と仏教講演

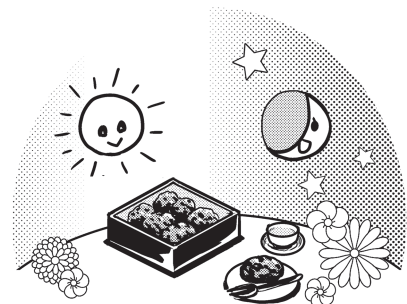
五月 二十一日(木)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。

☆『ともしび』を、平成27〜29年、平成30〜令和2年、令和3年〜令和5年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となって、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返れます。まとめた本が欲しい方は実費でお分けします。



## うたの詩

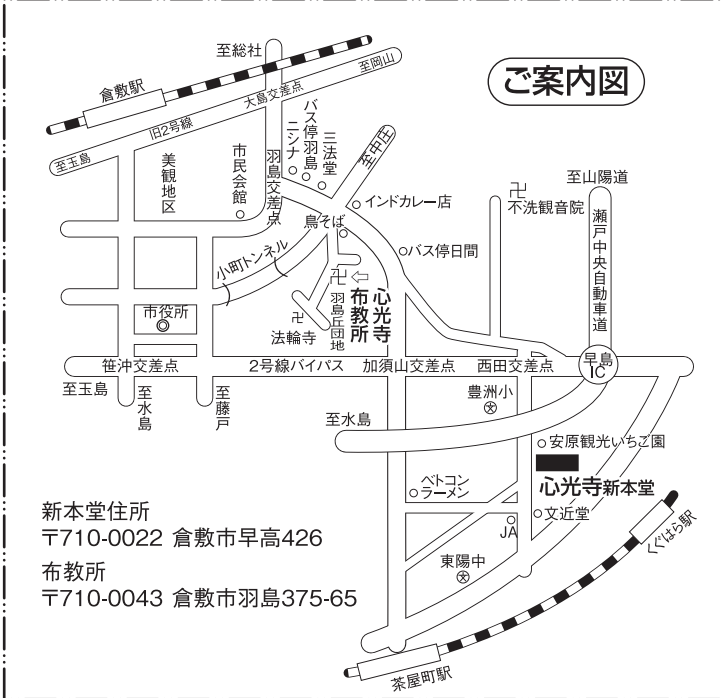
桃の節句の3月だよ 春とは名ばかりで風は冷たい 広い心 温かい心 深くて優しい心の持ち主となり 平々凡々とした日々を 本気で歩みたいと願いつつ 人生のデコボコ道に涙を流す



カット:吉岡美枝

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。

- 倉敷市 木戸カヨ様 5千円
- 倉敷市 すみれ花店 6千円
- 倉敷市 山形田鶴子様 1万円



新本堂住所 〒710-0022 倉敷市早高426  
布教所 〒710-0043 倉敷市羽島375-65

浄土真宗心光寺についてもっと知りたい方 お寺や『ともしび』について知りたい方

心光寺 倉敷 検索

〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺  
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322  
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「434号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。3月11日のともしび説法の日には茶屋町駅西口に12時30分、お寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦彦